

道路反射鏡の設置基準における私道（行き止まり道路）で  
車両を使用する沿道の世帯数の隣接市との比較

自治体名	行き止まり道路における道路反射鏡の設置基準（抜粋）
国分寺市	車両を使用する沿道の世帯数が10世帯以上。
立川市	公共性が高く、公衆用道路として担保されており、道路延長30m以上、道路幅員 3 m 以上、隅切りがなく、塀や垣根がある、5 戸以上の住宅が自動車を使用。
府中市	沿道民家 6 世帯以上で、かつ、車の所有が 3 世帯以上。
小平市	道路延長が35mを超えるもの。 （世帯数の基準は無し。）
国立市	世帯数の大小に限らず設置は認めない。
小金井市	世帯数が15世帯以上、車両を15台以上保有。ただし、道路状況や隅切りの有無により設置を断ることもある。